

ぎが1だより



入学おめでとう！(4日8日 南中学校入学式)

令和4年3月定例会

- 令和4年度予算案を可決
- 市長の市政運営方針
- 一般質問に10人が登壇

羽生市議会のホームページを開設しています。

[羽生市議会](#)

[検索](#)

目次

- 令和4年度の市政運営は
このように・・・ 2P
- 市政に対する一般質問・・・ 4P～9P
- 議案に対する質疑・・・ 9P～11P
- 審議案件と結果・・・ 12P
- 各常任委員会の経過・・・ 14P

令和4年度の市政運営はこのように 《誰もが幸せを感じる、 住み続けたいまち 羽生》の実現に向けて

令和4年3月議会は、2月22日から3月17日までの24日間の会期で行われました。

市長からは、新年度の一般会計予算、特別会計予算をはじめとする26議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

また、河田市長は、今期定例会において、令和4年度の市政運営について次のように述べられました。

市政運営方針

国の令和4年度当初予算は、令和3年度第1次補正予算と一体として、いわゆる「16か月予算」であり、感染症対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図る予算として、一般会計の総額が107兆5,964億円となり10年連続で過去最高を更新しました。

一方、羽生市の令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス



市政に対する考えを述べる
河田市長

ルス感染症の拡大防止策を講じつつ、安全・安心な市民生活の確保、地域経済の活性化、防災対策等に重点を置き、積極的な予算配分を行いました。令和4年度羽生市一般会計当初予算は、前年度よりも6億7,500万円の増額となる185億1,800万円を計上し、過去最大規模となりました。

令和4年度は「第6次羽生市総合振興計画」の5年目、同「前期基本計画」の最終年度となりますので、「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生」の実現に向けた前期の総仕上げとして、次のような施策に取り組んでまいります。

第6次羽生市総合振興計画によるまちづくり

第6次羽生市総合振興計画に掲げた8つの政策に基づいて、次の事業を実施します。

◎政策1 協働・文化

男女共同参画の推進では、女性センターの令和5年4月の市民プラザへの移転に向け、準備を進めます。

◎政策2 子育て・教育

子育て支援課内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子育ての困りごとや心配ごと、児童虐待等について、専門の職員が対応します。

◎政策3 福祉・健康

母子保健事業の推進では、概ね産後1か月に産婦の健康診査を実施し、産後うつ等の予防や新生児への虐待予防を図ります。

◎政策4 安全・安心

防災対策の推進では、防災行政無線のデジタル化整備を開始します。避難情報等発令判断支援システム、メール等一斉自動配信システム等を備えた、次世代の総合防災システムを導入します。

◎政策5 産業・雇用

農業の振興では、引き続き「羽生チャレンジファーム」への事業者参入を促進するとともに、観光農園、キャッチャー等との連携により、観光交流の拡大を目指します。

◎政策6 都市基盤

岩瀬土地区画整理事業において、区域の南北をつなぐ幹線道路や羽生駅西口との連結道路の道路築造工事、建物移転補償等を進めます。

◎政策7 生活環境

ごみ処理の適正化では、行田市とのごみ処理施設建設に向け、4月1日に行田羽生資源環境組合を設立し、諸事務を共同処理します。

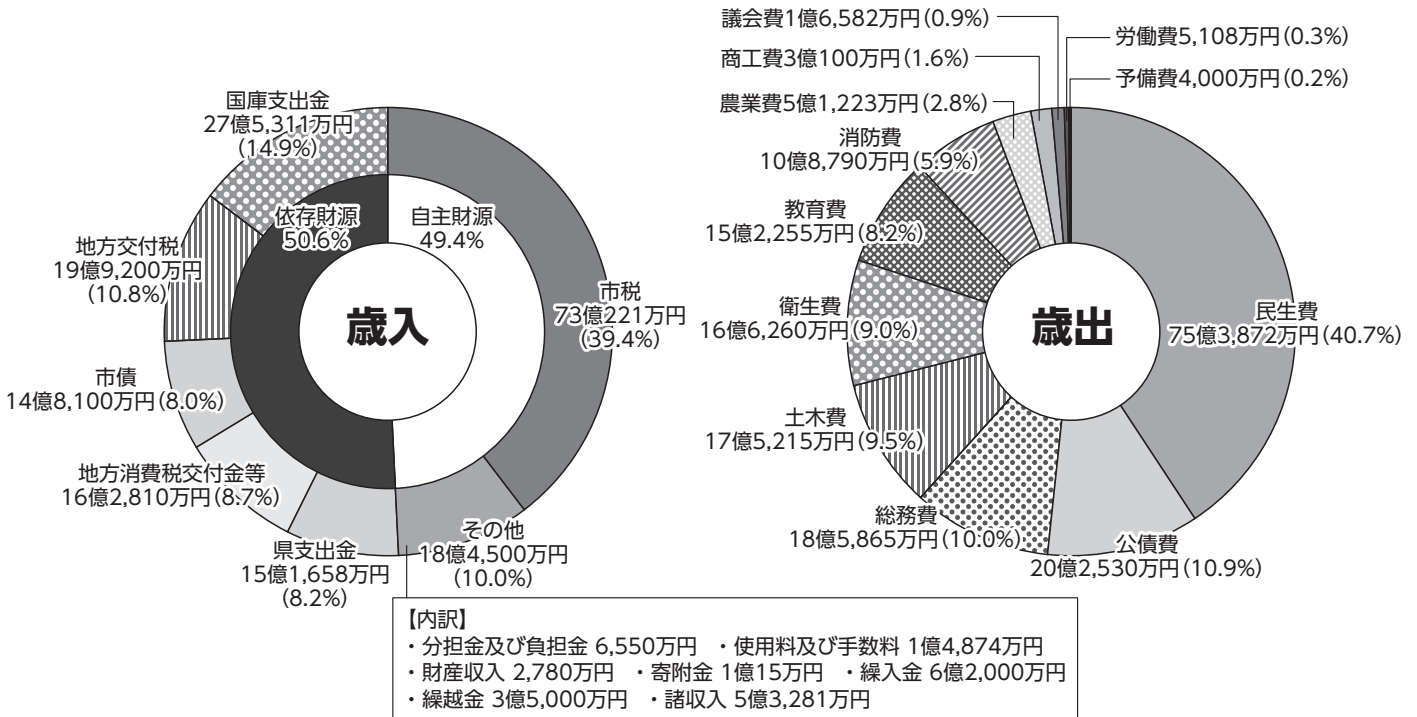
◎政策8 行政経営

行政のデジタル化の推進では、羽生市DX推進計画に基づき、RPA（定型的な事務処理を自動化する技術）の導入・活用の推進及び行政手続きのオンライン化を図ります。

令和4年度一般会計当初予算を可決

185億1,800万円

前年度比 6億7,500万円 (3.8%) の増



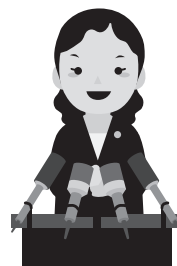
令和4年度各種会計予算

一般会計	185億1,800万円
国民健康保険特別会計	58億5,327万円
中小企業従業員退職金等 共済事業特別会計	8,788万円
介護保険特別会計	50億5,113万円
後期高齢者医療特別会計	12億6,610万円

水道事業会計		
収益的収支	収入	12億8,235万円
	支出	12億1,833万円
資本的収支	収入	2億3,972万円
	支出	7億6,576万円
下水道事業会計		
収益的収支	収入	10億 257万円
	支出	9億9,183万円
資本的収支	収入	7億5,642万円
	支出	11億 344万円

令和4年度の注目事業

○子ども家庭総合支援拠点の設置・運営 【272万円】	○岩瀬土地区画整理事業の整備促進 【7億5,486万円】
○産婦健康診査の実施 【149万円】	○乗合型デマンド交通 (のりあいタクシー) 実証運行の開始 【2,945万円】
○防災行政無線のデジタル化の実施 【1億5,670万円】	○行田羽生資源環境組合の設立及びごみ処理 広域化の推進 【3,750万円】
○観光農園等を活用した観光振興の推進 【21万円】	○行政のデジタル化への推進 【409万円】



市政に 対する

一般質問

そこが… 聞きたい

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、3月2日から4日の3日間にわたり10人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

自治体DXの推進状況と デジタル難民の解消は

江原博之議員

・質問 昨今、自治体DXの重要性及びその推進が求められている。しかしその一方で、デジタル格差がより拡大することが懸念される。そこで、次の点について伺う。
①羽生市でのDX推進状況について
②デジタル難民解消に向けての方策について

本市の令和4年1月末現在のカード交付率は35・7%である。三つ目は、行政手続のオンライン化である。国が運営するマイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にするものであるが、本市では、子育ての分野で15の手続きが可能となっている。また、市独自の

①国の自治体DX推進計画における重点取組事項の進捗状況であるが、まず一つ目は、自治体の情報システムの標準化・共通化である。本市では、国が策定する標準仕様への移行に向けた行動計画を作成している。二つ目は、マイナンバーカードの普及促進である。



電子申請として28の手続きが可能となっている。四つ目は、AI・RPAの利用促進である。本市では、一度に大量の申請書の情報を取り込むAI-OCRと、定型的なパソコン操作を自動化するRPAといったデジタル技術を利用している。

②行政としての配慮は重要な課題として認識しており、羽生市DX推進計画においてもその対策を位置づけている。デジタル難民解消に対する基本的な考えは、高齢者等が身近な場所でもオンラインによる行政手続・サービスの利用方法について相談や学習を行えるようにすることである。具体的には、地域の活動拠点である公民館において、スマートフォンでの基本的な操作や行政手続が体験できる講座の開催、サークル活動などを通じて操作に不慣れな高齢者が相談できる場所の確保や、高齢者をサポートする地域人材を育成していきたいと考えている。また、公民館にタブレットを含め、インターネット環境を整備するなどの対策を実施していきたいと考えている。

議会の詳細は
市議会ホームページ
をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。

羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

羽生市議会の
ライブ中継と録画配信
をしています。

羽生市議会

検索

こちらのQRコードからも
アクセスできます。



資産運用教育の導入として ジュニアNISAへの給付を

増田 敏雄 議員

・質問 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、「子育て世帯への臨時特別給付金（18歳以下の対象児童1人につき10万円）」を支給した。現金での給付もよいが、資産運用教育、金融教育の導入の試みとして、※ジュニアNISAの採用の可能性について伺う。

・答弁（学校教育部長）

新学習指導要領では金融や経済、消費生活に関して、小・中学校及び高等学校の各段階で指導することとしている。小学校では主に家庭科において、物や金銭の使い方と買い物について指導している。

中学校では主に社会科や家庭科において、計画的な金銭管理の必要性、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働きなどについて指導している。

羽生市教育委員会としては、ジュニアNISAは、小・中学校の新学習指導要領の範囲外と捉えており、現段階において、ジュニアNISAを教育課程において扱うことは考えていない。

しかし、技術革新や経済のグローバル化が急速に進展す

る中で、子どもたちが金融や経済に関する知識・技能や、資産や収支を適切に管理するための思考力などを身につけることは大切であると考える。今後は、関係機関とも連携を図りながら、幅広い知見を得つつ、発達段階に応じた

※ジュニアNISAとは、「未成年者少額投資非課税制度」のことで、子どもの将来に向けた資産形成のための非課税制度である。

て金融に関する教育の推進について研究していきたいと考えている。

その他の質問

・中学校運動部活動の地域移行は

・中学校における校内テストの結果と分析は

・特殊詐欺の対策を

南羽生駅の橋上化及び 東口の設置を

柳沢 暁 議員

・質問 南羽生駅東口の設置は住民の強い要望である。そこで、次の点について伺う。

・答弁（企画財務部長）

④橋上化及び東口改札設置の見解及び基金の積立について
①整備費用は、東口駅前広場が4,644万円、駅東通線が1億4,915万円である。整備した理由は、南羽生土地区画整理事業完了時の人口増加に伴う駅利用者の送迎など

に対応するためである。
②平成28年に橋上化した東武伊勢崎線川俣駅の状況を調査した結果、南羽生駅橋上化の費用は10億から15億程度になると考えている。また、国・

県の補助金を最大限活用することは必須と考えている。
③東口の駅舎及び自動改札機の整備費用は、約2億5,000万円程度になると想定している。また、人件費相当額として、1名常勤、3交代の勤務を想定すると、年間2,400万円程度が必要になると考えている。

④本市の見解は、人口減少社会を迎える中で、改めて将来の乗降客数の見込みや鉄道事業者の意向を確認するとともに、整備するために必要とな

る必要条件や整備課題の抽出、概算事業費の算出など実現の可能性を調査し、既存の公共施設の整備の優先順位を踏まえて総合的に判断していくべきものと考えている。また、基金の積立については、事業の実現性を見極めた上で、開始時期・積立期間・積立額を判断していくべきものと考えている。

その他の質問

・難聴者のための補聴器購入費助成制度の創設について



南羽生駅東口

羽生市の農業について

にしやま たけよし
西山 文由 議員

・質問 羽生チャレンジファームについて、次の点を伺う。

- ①先行モデル地区におけるこれまでの取組状況と参加事業者、栽培品目等について
- ②先行モデル地区以外の今後の展望について

・答弁 (経済環境部長)

①これまでの取組状況は、羽生市観光農園等基本構想をより多くの事業者に知っていたり多くの事業者の周知・PR活動を実施し、同時に地権者説明会を行うなど地元の方々への構築に対する理解を得られるよう努めてきた。また、先行モデル地区については、地権者か

ら了承をいただいた後、直ちに農地改良に着手し、畑地化整備を行なっている。

先行モデル地区の2.5ヘクタールは、観光農園エリアに位置付け、特にイチゴの栽培を計画する事業者に絞り調整を重ねた結果、2事業者の参入が決定し営農を開始している。参入事業者の1社は、年間を通じて収穫体験ができるようイチゴ以外の作物栽培への挑戦を考えている。また、もう1社は、イチゴの栽培から販売まで一貫した実践研修が可



整備が進む羽生チャレンジファーム

能な研修スクールの開校を計画しており、新たな担い手の育成や確保についても積極的に取組む意向を示している。

②先行モデル地区以外の21.5ヘクタールでは、2事業者

が参入し営農を開始している。1社はハーブやイタリアン野菜の大規模生産、もう1社は最新の環境制御型大型ハウスにてキュウリ、ミニトマト及びイチゴを生産している。さらに、養液栽培による高糖度ミニトマトの栽培及び露地でサツマイモを生産する予定の事業者の参入が決定している。残りの10ヘクタールは、現在2事業者からの相談を受けており、令和4年度中に参入事業者の決定まで進められるよう取り組んでいきたい。

自販機リサイクルボックスの異物混入低減の取り組みを

のなか かずしろ
野中 一城 議員

・質問 自動販売機のリサイクルボックスに飲料の空き容器以外の異物が入り捨てられている。そこで、次の点について伺う。

- ①羽生市の「プラスチックごみゼロ宣言」の取組について
- ②異物（一般廃棄物）混入問題の認識について

③業界と連携し、異物混入の新回収モデル策定等への協議体制の立ち上げ及び問題解決への取組について

・答弁 (経済環境部長)

①本市では、リサイクルなどの4Rの推進を継続しており、今後も使い捨てプラスチック製品の削減やごみのポイ

捨て防止など、身近にできる取組の周知徹底を行なっていきたい。なお、現段階において「プラスチックごみゼロ宣



異物混入を防ぐ新機能リサイクルボックス

言」を単体で行うことは考えていないが、その理念について、何らかの形でPRできるように検討していきたい。

②異物の処理費用が事業者の負担となり、ペットボトルのリサイクルへ悪影響を及ぼしていることは、報道等を通じて把握している。そのため、適切なごみ処理の推進と資源を大切に循環型社会の実現に向けた取組を推進する上では、飲料販売メーカーの排出事業者責任として行う取組はもちろん、行政から市民へ

のモラル向上の周知をはじめ、メーカーが行う取組に対して、市として協力できることがあるものと認識している。

③循環型社会を形成するには、市民、事業者、市がそれぞれの立場で協働して取り組むことが重要である。本市では、組織を設置するなどの協議体制を整える予定はないが、必要に応じて事業者と協力の上、適切にリサイクルが可能となるよう努めていきたいと考えている。

キャラクターさみっとについて

中島直樹議員

・質問 河田市長は「世界キャラクターさみっとは2,100万円という少ない予算で開催している。」という発言を繰り返している。しかし、これは市から実行委員会への補助金が2,100万円であって、開催費用ではない。ゴミやし尿の処理費、職員の人件費や超過勤務に係る費用等は一切計上されていない。過去、もともと動員が多かった年を参考に、世界キャラクターさみっとの開催にはどれくらい経費がかかっているのか伺う。

・答弁(経済環境部長) 最も動員数が多かった平成27年では、収入は総額5,369万円で、主な内訳として市からの交付金が2,069万円、参加出展料が728万円、広告宣伝及び協賛金が約723万円となっている。

支出は、総額5,369万円で、主な内訳として会場設営などの会場費が約3,131万円、ポスターなどの広告宣伝費が約627万円、ゲストの出演料や進行委託費が約535万円、シャツやバスや駐車場等の借上げ料

が約485万円、PRするための旅費が約141万円、スタッフの弁当等の食料費が約277万円となっている。また、職員7名と臨時職員1名のイベントに関わった人件費の合計が約1,465万円、イベント当日の市職員141人の超過勤務手当が264万円となっており、人件費の合計は約1,729万円であった。

よって、事業費と人件費等をあわせた支出の総額は、約7,114万円であった。



世界キャラクターさみっと in 羽生

・公立学童保育室の現状は
・岩瀬土地区画整理事業について

その他の質問

羽生市における環境政策は

斉藤万紀子議員

・質問 気候変動による温暖化が進み、特に埼玉県の気温上昇率は、この100年で2・12度と世界の平均を大きく上回っている。高温による農作物の品質低下、収量の減少、集中豪雨による水害、感染症リスクの増大など、市民生活にも大きな影響を及ぼす

温暖化に関し、羽生市の対応と今後の政策について、次の点を伺う。

①温暖化に対する危機感
②温暖化対策実行計画の実効性をあげる取り組み
③行政としての今後の取り組み

・答弁(経済環境部長)

①近年、世界各地で地球温暖化の影響とされる異常気象が多発し、自然災害による大きな被害が生じている。この危機的な状況を深く認識し、地球温暖化対策については、世界的に取り組まなくてはなら

ないことであり、対策を取らなければ、今後さらなる気候変動の影響を受けることとなるものと捉えている。

②具体的な実行体制としては、各課職員で組織した省エネ・エコオフィス推進会議が中心となるが、実行性を高めるための組織であるにはどうすれば良いか、検討しているところである。

③気候変動の適応に関する情報をホームページに掲載し、市の取組として熱中症などの健康被害、自然災害、水資源

や農業についての適応策を紹介している。また、環境省などが開催する脱炭素社会実現に向けたオンラインセミナーに参加し、先進的な取組や、今後の国の動向について情報収集に努めている。近年の環境をめぐる社会の動きはめまぐるしくはあるが、一つ一つ出来ることを確実に実施していきたい。



その他の質問

・市民が主役のまちづくりの実践は

羽生市の物流政策は

峯寄 貴生 議員

・質問 物流は、地域を支える重要な社会インフラであり、人口減少や新型コロナウイルス感染症の流行など社会環境の大きな変化の中にあつて、ますますその重要性が増してきている。そして、羽生市の「ものづくり」と「物流」、そして「まちの住み良さ」の

バランスの良い発展には、将来を見据えた物流施策を展開していくことが必要と考える。そこで、羽生市の物流政策の現状と今後を伺う。

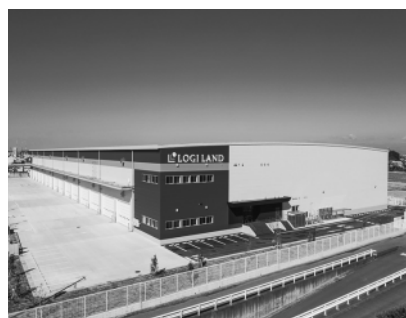
・答弁（まちづくり部長）

羽生市内では、物流施設が立地できるエリアとして大沼工業団地、小松台工業団地、

川崎産業団地があり、市の土地地区画整理事業や埼玉県企業局により整備され、分譲されたところである。現在は、工場や物流施設等で利用され空きが無い状況である。

第6次羽生市総合振興計画基本構想では、企業誘致検討ラインのゾーニングを行い、物流施設や工場などの産業系土地利用の誘導を図ることとしている。企業誘致検討ラインは、市内の国道122号、125号、主要地方道羽生栗橋線の沿道となっているが、

市街化調整区域のため、土地計画法第34条第12号の区域指定を行うことにより、産業系の土地利用を誘導したいと考えている。



須影地区の大型物流施設

この法第34条第12号の区域指定は、市内に7か所あり、現在、須影地区、下新郷地区、小松地区で物流施設が稼働もしくは建設工事中となっている。さらに国道沿線において、物流施設の立地について数か所の相談を受けており、今後相談者と協議を行いながら、可能性を検討していきたいと考えている。

市としては、雇用面や財政面で、今後の羽生市の発展につながる土地利用になることが一番であると考えている。

学校図書館図書等の

整備のために

齊藤 隆 議員

・質問 次の点について伺う。

①学校図書館整備を進める上で重要となる「図書選定基準」及び「図書廃棄基準」の策定状況について

②「第6次学校図書館図書整備等5か年計画」期間において目標とする「学校図書館図書標準」の達成について

③同計画の中で目標とする学校図書館の新聞配備について

・答弁（学校教育部長）

①教育委員会では、平成27年5月に学校図書館運営マニュアルを策定し、各学校に配布し、図書の選定について示している。また、羽生市立小中学校図書館図書廃棄基準を策

定し運用している。学校では毎年、学校図書館教育全体計画を策定し、学校図書の整備、活用を進めている。第6次学校図書館図書整備等5か年計



市内中学校の学校図書館

画を推進するに当たり、各学校における基準策定について、働きかけていく予定である。

②これまで、図書の質を高めるため、古い図書を廃棄し入替を進め、図書標準達成を目指してきた。

第6次学校図書館図書整備等5か年計画の最終は令和8年度であるが、第2期羽生市教育振興基本計画では、令和5年度に全校での図書標準達成を目標としているため、達成に向け図書の整備を進めていく予定である。

その他の質問

・带状疱疹予防のために

新郷の観光資源を

後世に残して

丑久保 恒行 議員

・質問 群馬県明和町の国道122号沿いには、新しい商業施設がオープンすると言われている。この先県内外から

車・人の数は増加が見込まれており、好都合の場所に「道の駅はにゅう」が位置していることから、次の点を伺う。

①国道122号の交通量増加による今後の道の駅の活用計画について

②川俣締切跡、川俣関所跡の石碑等設置場所について

③歴史資料館として後世に残す考えについて

・答弁 ①経済環境部長、②生涯学習部長

①物産販売の北側にある情報共有スペースに、日光脇往還、新郷川俣関所などの資料展示及びパンフレットの配布棚などを設置しているが、展示物の固定化が見られるなど、見直す点があると考えている。今後は、様々な役割を持った施設として十分な活用がされ

ているかどうか改めて検証し、利用者のニーズに合った施設であるよう、改善に取り組んでいく。

②川俣締切跡を示す石碑等は、河川防災ステーション整備に伴い、道の駅地内に移設された。また、川俣関所跡を示す石碑等は、昭和橋から上流の土手に設置されていたが、利根川堤防強化工事に伴い、一時撤去し、保管をしている。工事終了後の再整備については、道の駅地内への移設も含め、関係部署と検討を進めていきたいと考えている。



川俣締切跡（県指定旧跡）

③道の駅を訪れる多くの方々
が羽生市の歴史的遺産に触れることは、羽生市の歴史や文化を広く一般に知っていただ
く機会でもあるため、有益な
ことであると認識している。

しかしながら、厳しい財政事情を踏まえると資料館の新設は困難であると考えている。

その他の質問

・所有者不明の土地対策は

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第1号 令和4年度羽生市一般会計予算

保泉 和正 議員

用排水路等生産基盤整備は、生産性の向上及び農業振興を図るもの。

・質疑 整備する場所、規模及びどのような効果が見込まれるのか

・答弁（まちづくり部長）

地区要望工事として5か所（新郷・加羽ヶ崎・発戸・上手子林・名）において、コンクリート柵渠の整備など合計

羽生市地域防災計画の見直しは、関係法令の改正や埼玉県地域防災計画の見直しを踏まえ、全面見直しを実施するもの。

斉藤 隆 議員

・質疑

全面見直しの根拠となる関係法令の改正について

・答弁（総務部長）

災害対策基本法や災害救助法、水防法など関係法令の改正を踏まえ、羽生市地域防災計画に適切に反映されているか見直しを行うものである。

・質疑

全面見直しに向けた策定計画について

・答弁（総務部長）

今回の羽生市地域防災計画の改訂は全面見直しとなることから、令和4年度の早い時期に改訂案の作成を行い、パブリックコメントを実施し、市民の意見を反映させていきたい。また、その上で防災会議を開催し、改訂を行いたいと考えている。

その他の質疑

・議案第11号・第14号

野中一城 議員

子ども家庭総合支援拠点の設置・運営は、市内に居住するすべての子どもとその保護者の相談及び支援事業を行い、児童虐待の発生予防・早期発見に取り組むもの。

・質疑 支援拠点の設置場所について

・答弁 (市民福祉部長)

健康づくり推進課内にあ
る「子育て世代包括支援セン
ター」に隣接する子育て支援
課内に設置する。同センター
と連携し、子どもとその保護
者及び妊産婦へ切れ目ない支
援を実施していく。

・質疑 支援事業の内容につ
いて

子ども家庭総合支援拠点で
は、①子育てに関する相談、
②関係部署と連携した家庭へ
の支援、③子どもの健やかな
成長のための保護者への支援、
④警察・児童相談所・学校な
どの関係機関と連携した状況
把握などを実施する。

その他の質疑

・議案第14号

中島直樹 議員

羽生市女性センター(パー
プル羽生)の移転は、令和5
年4月に市民プラザへの移転
に向けて体制準備を進めるも
の。

・質疑 パープル羽生が移転
した場合、跡地利用はどのよ
うにするのか

・答弁 (総務部長)

羽生市女性センターは、令
和5年3月31日をもって閉館
を予定している。

その後については、入札に
より速やかな処分を考えてい
る。

その他の質疑

・議案第11号・第14号・第15
号

西山文由 議員

「二十歳の集い」は、令和
4年度以降もこれまで同様に
20歳で成人式を実施すること
に伴い、式典の名称を変更す
るもの。

・質疑 「二十歳の集い」に
至った過程、意義、対象者、
実施時期について

・答弁 (生涯学習部長)

令和4年4月からの改正民
法の施行に伴い、成年年齢が
18歳に引き下げられたことか
ら、式典の対象年齢等につい
て、社会教育委員会議や定例
教育委員会などにおいて検討
を行なった。仮に18歳を対象
に実施した場合、進学や就職
など将来にかかわる大切な時
期であり、教育的配慮が必要
となる。これらを総合的に勘
案した結果、令和4年度以降
もこれまでと同様に、20歳を
対象に二十歳の門出を祝い、
応援するため、「二十歳の集
い」という名称で開催するこ
ととした。なお、令和4年度
の対象者は約540人、令和
5年1月8日に開催を予定し
ている。

○議案第2号 令和4年度
羽生市国民健康保険特別会
計予算

柳沢 暁 議員

健康診査は、生活習慣病の
発症予防及び早期発見のため
実施するもの。

・質疑 特定健康診査の受診
率は平成30年度36・3%、令
和元年度33・5%、令和2年
度34・1%と近年35%前後で
推移し伸び悩んでいるが、令
和4年度の受診率目標56%の
達成に向けた新たな取り組み
について

・答弁 (市民福祉部長)

現在、受診の勧奨通知や市
広報、ホームページのほか、
被保険者証発行時に同封する
小冊子による通知を行なって
いる。令和2年度は受診勧奨
はがきの文面や表示方法を工
夫し、令和3年度は納税通知
書に同封するパンフレットに
よる周知を実施した。令和4
年度も新たな取り組みを検討
し、受診率の向上を図りたい。

その他の質疑

・議案第1号

○議案第14号 令和3年度
羽生市一般会計補正予算
(第16号)

斉藤 万紀子 議員

教師用デジタル教科書は、
GIGAスクール構想をさらに
推進するために購入するもの。

・質疑 購入予定の教科とそ
の活用方法、また、現在の利
用状況とデジタル教科書のメ
リット・デメリットについて

・答弁 (学校教育部長)

小学3・4年生の国語と算
数を全11校分購入し、授業に
おいて大型モニターと併用し、
ほぼ毎日活用する予定である。
現在は、小学5・6年生及び
中学1年から3年の国語と算
数・数学ではほぼ毎日活用して
いる。
写真や動画、音声の再生な
どにより、子どもたちの関
心・意欲を高めるのに効果的
である。しかし、更新費用や
目の疲れによる健康面への影
響が懸念されるため、画面の
文字を見やすくするなど、配
慮していきたい。

その他の質疑

・議案第1号



移転するパープル羽生

○議案第20号 羽生市公共下水道条例の一部を改正する条例及び 議案第21号 羽生市給水条例の一部を改正する条例

みねざき たかお
峯崎 貴生 議員

下水道使用料等の改定は、現在の社会情勢や経営状況を考慮し適正化を図るもの。

・質疑 金額根拠、及び市民生活等への影響について

答弁(まちづくり部長)

下水道使用料については、汚水処理原価の経費回収率80%、120円を使用料単価とした。また、上下水道で、ほぼ同じ内容の事務手續手数料の額に差があることから改定するものである。

市民生活等への影響は、一般家庭で一か月に20立方メートル使用した場合、その使用料は2,310円、20%の値上げとなる。また、水量を多く使用すればするほど使用料単価が上がる累進使用料制を採用しているため、水量を多く使用する企業等は、値上げ分の上昇が見込まれる。

その他の質疑

・議案第1号・第14号

「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議」が 全会一致で可決されました

ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、国連憲章に違反し国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なう暴挙であり断じて許すことはできない。既にロシアによる侵攻により多数の民間人を含む人々の命が奪われている。

また、ウクライナに拠点を置く日本企業をはじめ現地在留邦人の生命及び財産が著しく危ぶまれる事態である。

このような武力を背景にした一方的な現状変更は明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので看過できない。

ここに羽生市議会は、ロシアに対し、ウクライナへの侵攻、軍事行動を直ちに中止するよう求めるものである。

政府においては、現地在留邦人だけでなく、ウクライナに暮らす人々の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の撤退を求めるよう万全を尽くしていただきたい。

以上、決議する。

教育長の任命に同意

秋本^{あきもと}文子^{ふみこ}教育長の任期が3月31日をもって満了となるため、引き続き同氏を任命したいとして市長から同意を求められました。

市議会では、適任と認め同意しました。なお、秋本氏は4月1日付で市長から教育長に任命されました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、中澤^{なかせ}達夫^{たつお}委員の任期が3月29日をもって満了となるため、引き続き同氏を選任したいとして、市長から同意を求められました。

市議会では、同氏を適任と認め同意いたしました。

3月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

公成会…公成 拓政会…拓政 令和会…令和 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

議案番号	議案名	公成		拓政		令和			公明		共産	無派	無派	無派	結果
		峯 貴 生	松 本 敏 夫	島 村 勉	保 泉 和 正	江 原 博 之	西 山 文 由	増 田 敏 雄	野 中 一 城	齊 藤 隆	柳 沢 暁	無 派 丑 久 保 恒 行	無 派 中 島 直 樹	無 派 齊 藤 万 紀 子	

議員提出議案

議第1号	ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
------	-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

※島村勉議長は表決に加わりません。

市長提出議案

第1号	令和4年度羽生市一般会計予算	○	○		×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	原案可決
第2号	令和4年度羽生市国民健康保険特別会計予算	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第3号	令和4年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第4号	令和4年度羽生市介護保険特別会計予算	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第5号	令和4年度羽生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第6号	令和4年度羽生市水道事業会計予算	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第7号	令和4年度羽生市下水道事業会計予算	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第8号	専決処分の承認を求めることについて（1） （令和3年度羽生市一般会計補正予算（第12号））	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第9号	専決処分の承認を求めることについて（2） （令和3年度羽生市一般会計補正予算（第13号））	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第10号	令和3年度羽生市一般会計補正予算（第14号）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第11号	令和3年度羽生市一般会計補正予算（第15号）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第12号	令和3年度羽生市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第13号	令和3年度羽生市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第14号	令和3年度羽生市一般会計補正予算（第16号）	○	○		×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
第15号	羽生市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第16号	羽生市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第17号	羽生市事務手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第18号	羽生市入学準備金貸付条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第19号	埼玉県内の医療機関における福祉3医療費の現物給付の実施に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第20号	羽生市公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第21号	羽生市給水条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
第22号	羽生市消防団条例の一部を改正する条例	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第23号	市道路線の認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第24号	市道路線の廃止について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第25号	羽生市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第26号	羽生市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

議長は表決に加わりません。

議会の手引 市議会への請願は「のび」で…

請願を市議会に提出する場合は、次の様式で作成し議会事務局へ提出してください。

●請願書の提出要領

1. 請願書は、議員の紹介を必要とするため、必ず請願書の表紙に紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。
2. 請願書には、先例により議員は自分の所属する委員会の所管に属する内容の請願の紹介者にはならないことになっけています。
3. 請願書には、請願者の住所を記載し、署名又は記名押印してください。(署名についても同様とします。)
4. 法人は、代表者がその資格で署名又は記名押印してください。
5. 請願書は、記入例に準じて作成してください。形式不備の場合は返される場合があります。なお、記入例は横書きですが、縦書きでも結構です。
6. 請願は、所管の委員会で審査され、本会議で採択を行います。
7. 陳情、その他のもので、その内容が請願に適合するものは、議員配布します。
7. 詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

記入例

本文

表紙

〇〇〇についての請願

1. 要 旨
2. 理 由

以上、地方自治法第124条の規定により
請願いたします。

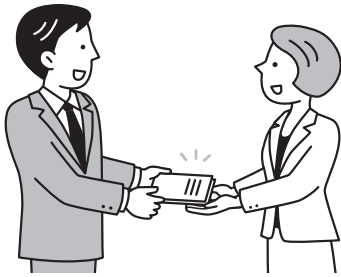
令和〇〇年〇〇月〇〇日

請願者
住所 〇〇〇
氏名 〇〇〇
電話 〇〇〇〇

羽生市議会議長 様

〇〇〇に関する請願書

紹介議員
〇〇〇〇



◇ 傍聴について ◇

本会議は、市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴(60席)できます。また、常任委員会(午前9時30分開会)の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、開会前にお越しください。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

048 (561) 1121
(内線) 513

6月定例市議会

市長選挙のため、6月定例市議会の会期が決まっております。

6月定例市議会の開催予定は、後日、議会のホームページや市の広報でお知らせいたします。

詳しくは、羽生市議会事務局までお問い合わせください。



ポートレース戸田

羽生市を含む県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。

開催日

- 5月17日(火) ～ 22日(日)
- 【GⅢオールレディース・第54回報知新聞社杯】(戸田)
- 5月26日(木) ～ 30日(月)
- 【第6回週刊大衆杯】(都市)
- 6月2日(木) ～ 6日(月)
- 【BACHプラザ杯】(戸田)
- 6月9日(木) ～ 13日(月)
- 【日本財団会長賞】(戸田)
- 6月16日(木) ～ 21日(火)
- 【GⅢマスターズリーグ第3戦】(都市)
- 6月25日(土) ～ 29日(水)
- 【第38回日本モーターボート選手会会長賞】(都市)

会場

- ポートレース戸田(戸田競艇場)
- ※都市：埼玉県都市ポートレース 企業団主催
- ※戸田：戸田ポートレース 業団主催

◎本場発売等についての詳細は、ポートレース戸田オフィシャルサイト等でご確認ください。

各常任委員会の経過

総務文教

委員会に付託された案件は、議案7件でした。

議案第1号令和4年度羽生市一般会計予算の審査では、総務費において「のりあいたクシー実証運行の内容について何う。」との質疑に対して「75歳以上の高齢者や障害者手帳をお持ちの方、いわゆる交通弱者を利用対象者として実証運行を開始するものである。期間は令和4年10月から令和7年3月末までとし、料金は地域の実情等を勘案して1回当たり500円とした。運行は市内の事業者を予定している。」との答弁がありました。

次に、議案第14号羽生市一般会計補正予算第16号の審査では、商工費において「新規設備等導入サポート補助金及び新規事業チャレンジ補助金の内容について何う。」との



審査結果を報告する峰寄委員長

質疑に対して「前者の補助金は事業者から好評であったため、令和4年度は制度を改良して実施するものである。内容は、新分野展開、業態転換、事業転換、業種転換、増産・品質向上など、感染症予防に特化せず、設備投資に取り組み事業者のハード面を支援するものである。また、後者の補助金は令和4年度に新たに実施するもので、商品開発やホームページ制作、特許、認証、免許、資格取得などに挑戦する事業者のソフト面を支援するものである。」との答弁がありました。

都市民生

委員会では、これらの審査の結果、付託議案7件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会に付託された案件は、議案16件でした。

議案第1号令和4年度羽生市一般会計予算の審査では、消防費において「消防車両整備で9,944万円を計上しているが、コロナ禍で市民が生活に困窮している中、高額な車両を導入しようとした経緯について、伺いたい。」との質疑に対して、「平成18年に導入したポンプ車が老朽化により故障が多発しており、その更新整備として今回、13メートルブーム付多目的消防ポンプ車を導入するものである。最近の火災でも高所から放水できれば、より効果的な消火につながったと思われるケースも出てきており、消火力強化のためにも導入は必要である。」との答弁がありました。

る条例の審査では、「下水道使用料の改定に際して、審議会からの答申内容について伺いたい。」との質疑に対して、「①使用料の適正化に取り組みべきである。②使用料単価は、令和7年度までに120円とすることが適当である。③改定時期は、水道料金の改定時期と重複することなく、行うことが適当である。④今後の定期的な使用料の見直しは5年以内に図るべきである。」との答弁がありました。



審査結果を報告する松本委員長

⑤更なる収入の確保及び、経費の削減に努めるよう求めるなどの答申内容であった。」との答弁がありました。

「ご意見などを
議会広報委員会まで」

☎048(561)1121
(内線)513

《議会広報委員会》

委員長	島村 勉
副委員長	野中 一城
委員	斉藤 隆
委員	峯寄 貴生
委員	松本 敏夫

3月定例市議会傍聴者数

2月22日	1人
3月1日	2人
2日	9人
3日	13人
4日	3人
17日	1人
計	29人でした。

常任委員会傍聴者数

3月7日	0人
8日	0人
9日	0人
10日	0人
計	0人でした。